板紙・段ボール新聞

（昭和35年12月7日。第三種郵便物認可）
毎月7日、17日、27日発行
第二七八一号
（二〇二〇年）
2年9月27日

日刊板紙段ボール新聞社
東京都文京区湯島4－6－11 A－509
TEL 03－5689－0121 FAX 03－5689－0120
http://www.itadan.com
Email: info@itadan.com
購読料 年間 27,000円（価格は税抜）

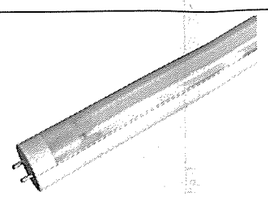
株式会社トーモク
TOMOKU
TEL.03-3213-6814
http://www.tomoku.co.jp

除菌、防カビ照明 発売

「aiSave」光触媒 銀イオンで ウイルスにも効果

東洋SCトレーディング

東洋インキグループの東洋SCトレーディングは、除菌や消臭、防カビ効果がある特殊な照明「aiSave（アイセーブ）」を発売した。光触媒や銀イオンを発生させることで細菌を不活性化して破壊する。ウイルスに対しても90%近い不活性化の効果が実証されている。



「aiSave」は、CCFL（Cold Cathode Fluorescent Lamp、冷陰極管）タイプの最新型蛍光灯＝写真㊦。設置するだけで効力を発揮する。除菌のメカニズムは、微細なナノシルバー粒子が放電管の電位と反応することで銀イオンを発生させ、病原菌や悪臭の原因となる細菌を包み込み電子を奪い細胞壁を破壊、細菌内の酵素の働きを停止させる不活性化によって窒息・死滅できる＝図㊦参照＝。

さらに酸化チタンに光が照射されると生じる光触媒反応でライト付近に接触する浮遊菌や有機物（汚れ・花粉など）に対し、次々と瞬時に働き、水や二酸化炭素に分解する。当然、人体には無害である。

蛍光管や電球、ダウンライトなど用途に応じたタイプをラインナップ。食品加工場や厨房、医療機関、教育現場、さらに畜産関連など様々な分野で導入が進んでいる。新型コロナウイルス対策としても注目が集まっており、印刷や段ボール関連でも導入を検討する企業が増えている。

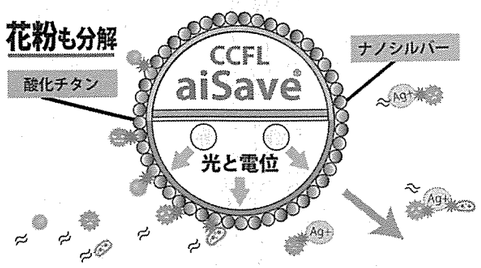
東洋SCトレーディング担当者によると「新型コロナと類似構造であるインフルエンザウイルスや、ノロウイルスに対する不活性化試験では、20ワットタイプを照射開始後4時間で75%、8時間で90%の不活性化が認められた。新型ウイルス対策にも貢献できることを期待している」とする。

価格は、既製の蛍光灯およびLEDに比べ割高だが、前述の特性に加え、蛍光灯よりも省エネで電気代・CO_2を約40%削減、LEDと同等の4万時間以上の長寿命も特長である。さらに、眼の負担となるブルーライトがLEDの6分の1。擬似的な白ではなく赤・青・緑の3波調に集中して光を調整しているためモノが自然とはっきり見え、不快感やストレス抑制にもつながる。

開発と設計は国内メーカーのファーストネーションズ㈱（横浜市西区）。主に循環型社会に貢献する環境対応商品を扱っており、環境エネルギー事業に力を入れている。

問合せは東洋SCトレーディング・マーケティング部TEL03－3272－3391まで。

CCFL 抗菌ライトの断面図とメカニズム



UV硬化型抗菌ニス オフセット印刷用

東洋インキ

東洋インキは8月3日、新たにUV硬化型抗菌ニス「FLASH DRY AMBシリーズ」を発表した。

新開発のUV硬化型抗菌ニス「FLASH DRY AMBシリーズ」は、UVオフセット・UVラベル印刷に使用できる、抗菌性を付与したコーターニス、OPニス。コーターニスに関しては抗菌加工製品の抗菌性試験方法であるJIS Z 2801に基づき、大腸菌、黄色ブドウ球菌に対する有効性も確認済み。

また、一般的に抗菌性と透明性は切り離せない関係だが、今回の開発品では従来品同等の透明性や物性を保持したことも大きな利点である。

開発の背景には新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、安心・安全・衛生への関心は一層高まっており、「不特定多数の人が触れる機会が多い各種印刷物に対し、衛生性を付与したい」という、食品・日用品メーカーや印刷加工会社が非常に多いと観点から昨年から一般UVラッカーUVニス、さらに方化技術を使ったUVニスなど、UV硬化型抗菌ニスを開発したとしている。

今回確立した抗菌性試験方法は、一般UVラッカーUVニスなどの抗菌性試験にも適用できるとしている。

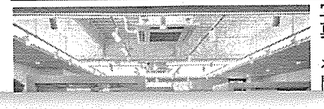
クラウン・パッケージ

葛城市と災害時協定

大阪事業所が食品容器等

㈱クラウン・パッケージ（佐光恵藏社長）大阪事業所（奈良県葛城市）は8月28日、地元・葛城市と災害時における段ボール製品の支援協力に関する協定を締結した。

マイクロフルート製食品容器等を供給する。阿古和彦葛城市長＝写真㊦は締結式で、特に紙製食品容器の特性に言及し、万一震災でライフラインが遮断されるような事態となった場合、（概ね1回の使用で、洗わなくてもよいことから）貴重な水を使用する必要がなく、処分も容易。またコロナ禍においては他素材と比べウイルスの残存期間が短いとされる紙製であることから、感染リスクを軽減する効果が期待できるとの見解を示した。クラウジ上嶋良彦＝写真㊦＝「今後も引に貢献して強調した。なお、同



大阪

最

㈱クラウジ（佐光恵月29日、大阪市天王寺るクラウンに、レンタ「min-写真＝を開

エンジニアリング

「頼られるパートナーに」

抜型を中心に、製版など幅広く手がけるユーエスエンジニアリング㈱（埼玉県本庄市）は昨年10月、坂本直哉社長が就任した。「主力の抜型をはじめ、印版やプラスチックトレー等の製造を通じて確立した様々なノウハウを活かし、お客様に頼られるパートナーでありたい」と語った。人材育成や環境づくりを重視することで「新生ユーエスエンジニアリングとして、新たな時代に合った、高品質な製品を適正な価格で安定して供給し続ける」とした。

●社長に就任しました。抱負は

抜型という一部分ではあるが、日々の暮らしを支える紙器・段ボール業界、さらに物流・流通に貢献する技術パートナーとして、お客様に頼って

組みのほうが稼げる時代でもある。

とは言え、そのような中でも生活を支える食品をはじめ、ものの供給や流通は必須だ。これらを供給する生産者やメーカーに、これこそ携わる氏器・組織で、お客様のニーズにしっかりと応えられる環境づくりや人材育成に力を入れていきたい。

●主力の抜型に加え、印版やプラスチックトレー製造など様々な事業を展開しています。この強みをどのように活かし、さらに発展させますか

抜型メーカーだからこそ持つ加工技術があり、

分野などは

入社前まで全く異なるITの分野で仕事をしており、当社の業務に一切携わっていなかったが、入社後は真空成型トレーの営業をはじめ製造工程の管理を担当、抜型の技術も一から学んでいる。異分野からの転身だからたいと考えている。かつては、寝る間を惜しんで

ると思う。

●現在の課題や目標などはありますか

人材育成が最も重要である。従業員の育成を中心軸に据えた経営を行い、脱オーナー企業および組織経営を進めていきたいと考えている。かつて

発信ではなくお客様のみ出す事を

型と印版を一と外装箱できる。これにとっても

る。特にエにおいてはード感はよットを感じと思う。今当社を上手